

# けやきだより

社会福祉法人みらい



## 今月号の写真 『けやきの生ドーナツ』

けやき可児初！オリジナル商品「けやきの生ドーナツ」です。

5月の終わりからドーナツ作りを始め、何度も試作をし、奮闘しながらついに販売に至りました。職員、利用者と試食を繰り返して、色々な意見をもらいながら考えたドーナツです。

調理班の利用者の作業もドーナツを揚げたり、クリームをはさんだり、包装をしたり、初めての作業で戸惑いもありましたが、今は少しずつ慣れてきました。

けやき可児祭りで発売してからお問い合わせの電話やカフェに来店して購入して下さる方、徐々にけやき可児のドーナツを知っていただけるようになりました。これからたくさんの方に知っていただけるよう、利用者と職員が力を合わせて頑張っていきたいと思えます。

## 第18回けやき祭りを開催しました。

2024年11月16日（土）、昭和小学校体育館をお借りして「第18回けやき祭り」を開催しました。天候が心配されましたが、なんとか雨を避けて無事に開催することができました。当日は多くの地域の方々に足を運んでいただき、会場は昨年同様に大いに賑わいました。



多治見市長 あいさつ

今年は、来場者の皆様に快適にお過ごしいただくため、館内の飲食スペースを昨年度よりも増やしました。これにより、ゆったりと食事や交流を楽しんでいただけたのではないかと考えております。また、法人みらいの活動をより知っていただくため、会場内のあちこちにホームページのQRコードを掲示しました。スマートフォンでアクセスしていただけた方がみえましたら、嬉しく思います。



今年も「みらいの音楽隊」と「ブレーメン隊」の利用者さんによるステージ発表が大いに盛り上がりました。今年は、開会式でもみらいの音楽隊が歌を披露いたしました。来賓の方に歌詞カードをお渡しし、一緒に歌っていただく機会を設けました。今年も、新たな試みとして、コラボステージを実施。利用者さんたちが息の合った歌を披露し、大きな拍手が会場を包み込みました。会場の熱気を感じられる素晴らしい時間となりました。



また、平和中学校の生徒さんたちが、今年もボランティアとしてブース運営を手伝っていただきました。利用者さんと協力しながら、楽しそうに活動する様子が見られました。来年も引き続きご協力をお願いしたいと思います。





第2けやき木工班が手掛けた木工製品は、今年も大好評でした。精巧な仕上がりの製品を、多くのお客様が手に取っていただきました。けやき商品としておなじみのクッキーやベーグルも売れ行き好調でした。



遊戯ブースでは射的や「豚玉vsいか玉ゲーム」「ボッチャゲーム」が人気を集め、小さなお子さんから大人の方まで楽しむ姿が印象的でした。



恒例の豪華賞品が当たる抽選会も大いに盛り上がり、多くの方にご参加いただきました。ただ、一部のブースで景

品がなくなってしまうという課題もありましたので、最後まで皆様楽しんでいただけるよう改善を図りたいと思います。



今年も地域の皆様のご支援のおかげで、無事に「第18回けやき祭り」を開催することができました。ご来場いただいた皆様、準備や運営にご尽力いただいたボランティアや関係者の皆様、心より感謝申し上げます。

これからも、地域の皆様との交流を通じて、法人みらいの活動内容や、利用者さんがいきいきと働いている姿を知っていただきたいと思っています。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。

けやき職員 さいとう



 お祭り 

## 事業所紹介 第4 けやき

第4けやきの紹介をさせていただきます。7月号で紹介されていた第3けやきと同じく、生活介護の事業所ではありませんが、また異なる作業、活動を行っています。

その中でも、第4けやきの一番の特色としては、『クラブ活動』が挙げられます。現在行っているクラブ活動は全部で5つあり、工作クラブ、手芸クラブ、園芸クラブ、運動レククラブ、音楽クラブがあります。このうち手芸、運動レク、音楽は第3けやきと合同で行っています。



どのクラブ活動においても一貫して職員が大切にしていることとして、利用者さんがやりたいことを尊重していることが挙げられます。例えば、手芸クラブでは、ポケモンのぬいぐるみを作りたいという利用者さんがいたときに、どのような工程を踏めば完成できるのかを利用者さんと一緒に考え、一つずつの工程をなるべく利用者さんの手で行えるよう、支援を行います。難易度は高いですが、自分で作りたいと決めたものを自分の手で完成させる喜びや達成感は大きいと思います。



音楽クラブでも利用者さんからのリクエストに合わせて曲を決め、それぞれがやりたいパート（歌や楽器）を練習して、発表の機会を作っています。けやき祭りでの発表がひと段落したので、次は3月の展示会・販売会に向けて練習を進めていく予定です。写真は昨年度の展示会・販売会での発表の様子です。



R6.3展示会・販売会

これからもクラブ活動を中心に、利用者さんが一層楽しめるように工夫をしていきたいと思っています。

第4けやき職員 うえだ



利用者紹介

みらいの輝人

～キラビト～

けやき

安田 達弘さん



Q. 調理班での作業内容を教えてください。

A. 調理室で弁当盛り付け、洗い場、乾燥後の調理器具類の片づけなどを行っています。

Q. 仕事に対する安田さんの気持ちを教えてください。

A. いつもパワー全開で頑張っています。食べるのが好きなので、それがパワーの源です。

Q. 調理班で仕事をしていて嬉しい事や大変だなと思う事を教えてください。

A. 自分の盛り付けた弁当が綺麗に仕上がっていくことが嬉しいです。大変なことは洗い場で洗いがたくさんあるときです。けれどそんな時こそ「よっしゃー！ やったるでー」と思います。

Q. グループホームでの暮らしについて教えてください。

A. 今は一人部屋にいます。テレビを見たり洗濯物を干し、たたみもして頑張っています。誕生日の時は皆で「おめでとう！」と言ってケーキを食べます。僕の時は好物のチーズケーキをリクエストして食べました。



担当職員コメント

調理班は食べ物を扱う仕事なので衛生に関する細かいルールが沢山あり覚えて動くことがとても大変です。そのような中、安田さんもルールを守りながら一生懸命に働いてくださっています。急な洗い物、盛り付けの変更などを頼んでも嫌な顔一つせず引き受けてくれる頼もしい存在です。またとても朗らかな性格で安田さんの周りにはいつも沢山の人が集まり笑い声が聞こえてきます。



けやき職員 おの





## ～次代を担う職員との対談～



うえだ（平成28年入職）

Q この仕事を始めるきっかけは何でしたか？

さいとう：はじめはボランティアでこの法人のいろいろな事業所に来ていました。その中でGHの世話人にならないかと声を掛けられ、職員として働くようになりました。

うえだ：福祉系大学に通っていましたが、社会福祉士の資格取得のための実習で、初めて障がい分野の施設での実習を行い、この分野の面白さを学ばせていただきました。就職活動の際は、いくつかの事業所の中で、法人みらいが一番利用者も職員も活気があったので応募させていただき、職員として働くことになりました。

Q うえださんが、障がい分野を「面白い」と感じた部分はどこでしょうか？

うえだ：いろいろなこだわりがある方などと接する中で、どうしてそうするのか？理由を突き詰めて考えていく事に興味が引かれました。今でも生活介護の事業所を担当する中で、想定を上回る利用者さんの行動などを見るたびに、もっとそこにも対応していかなきゃいけないと楽しく考えるようにしています。

Q これまで仕事をしてきてうれしかったことや、やりがいを感じたことは何ですか？

さいとう：GHを担当していた時に、一人暮らしを希望される方がいろいろな支援を通して、巣立って行ったときは、とてもうれしく思いました。一緒に料理をして練習する中で、利用者さんが自分なりに調べて作った料理をふるまってくれたこともありました。思えば、分からないことも多い中で寄り添いながら支援し、利用者の思いが一つ形になった事で、利用していただいている皆さんが日々生き生きとされている姿を見るのがやりがいの一つだと思ようになりました。

うえだ：先日のけやき祭りで、カレッジで支援した就職者の方と久しぶりに会うことが出来て、今でも頑張っていることを聞いたことです。就職後も企業との折り合いの面から難しい局面があった方なので、自分がカレッジを離れてからも、本人の頑張りや他の職員の支援の上で今でも頑張っている事が聞けて本当にうれしかったです。



さいとう（平成22年入職）

Q この仕事をするうえで大切にしている事は何ですか？

さいとう：改めて言われると難しいですね。自分なりにはこの仕事は社会的に必要不可欠な仕事だと思っ  
ていますが、そう思っていない方もいる  
かもしれません。その中で、利用  
されている方々の生活であったり笑  
顔であったりをどう守っていくかを  
大切にしていきたいと思っています。

うえだ：自然体でいる事を大切に  
しています。「利用者様」と構えるわ  
けでもなく、虐待の問題なども含め  
て職員が偉い人なわけでもなく、人  
と人の自然な関係の中で一緒に喜び、  
ダメなことはダメと伝える事で対等  
な人のかかわりをしていく事がこの  
仕事を長く続けていく上で大事なこ  
とだと思っています。

Q 将来の目標や挑戦したいことは  
ありますか？

さいとう：精神保健福祉士の資格を  
取ろうと思い、準備中です。この仕  
事を始めてから、社会福祉士、保育  
士と様々な資格を取ってきましたが、  
次は精神保健福祉士かと思っています。

うえだ：サビ管としてもっと様々な  
経験をして、いろいろな状況に対応  
できるよう力を高めていきたいと  
思っています。また、法人みらいの  
新しいテーマソングを利用者と一緒  
に創ってみたいとも考えています。  
できれば販売する訳ではありません  
が、CD化するくらいにしたいです。

課長 かとう



## 寄付等頂いた皆様の紹介

### ご寄付をいただいた方

(株)セクテック  
佐々木陶器株式会社  
谷 敏  
柳生真理

(有)丸元コンフォート  
水野・森本法律事務所  
(株)熊谷設計  
けやき保護者会

### ボランティアをして頂いた方

平和中学校の生徒の皆さん  
平和中学校教員 森  
溝口美保  
(順不同、敬称略)



## 福祉マメ知識

法人内の利用者のほとんどの方が「障害基礎年金」を受給されていると思います。さて、この年金ですが、障害者手帳を持っていなくても受給することが出来ます。手帳と年金は別の制度になっているため、要件を満たしたうえで、申請することで受給できます。書類審査のみです。逆に言えば要件を満たしていても、申請しない限り受給することはできません。詳しくは相談支援事業所にお尋ねください。

ちなみに年金の金額は障害の程度により分かれています。1級が概ね年間100万円、2級が概ね年間80万円です。金額は年度により決められ、年6回の偶数月に2か月分支払われます。

## ハイゼットカーゴをご寄贈いただきました。

赤い羽根共同募金会様より、けやきにハイゼットカーゴをご寄贈いただきました。

主にクリーニング作業の商品の引き取りや納品に活躍しています。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



## 編集後記

新年あけまして、おめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。さて、今年はどうなるのでしょうか？ 昨年のように暑さが続いたり、線状降水帯が出来たりしない、穏やかな年になっていただきたいものです。

今年の4月からは、例年になく多くの新卒の新規利用者を迎えます。支援学校の実習を通じて選んでいただいたそれぞれの事業所で、新たな生活をスタートさせますので、次号ではその紹介をさせていただきます。楽しみにお待ちください。

課長 かとう

社会福祉法人みらい けやきだより第47号

発行日 2025年1月  
発行者 社会福祉法人みらい事務局  
〒507-0827岐阜県多治見市平和町6-364  
TEL 0572(22)1011



法人ホームページはこちらから